



DAIHATSU

01999-B1212

THOR

シートリフト

取扱説明書

よくお読みになって使用してください。
取扱説明書はお車の中に保管しましょう。



このたびは、ダイハツ車をお買い上げいただき、 ありがとうございます。

- 本書は、トール シートリフトの正しい取り扱い方や、お手入れの方法などについて説明している他、お車を操作する上で必ず守っていただきたいこと、また、万一のときの処置についても記載しています。安全で快適なカーライフをお楽しみいただくために、ご使用の前に必ずお読みください。
- 基本的な内容は同梱のトール取扱説明書をご覧ください。

ご愛車のために

- 車種によって取り扱い方法が異なる場合は、車両型式やエンジン型式を確認した上で操作を行ってください。車両型式、エンジン型式はトール取扱説明書の「ご愛車に関するメモ」にあらかじめ記入しておくとう便利です。
- 保証および点検・整備については、別冊の「メンテナンスノート」に記載していますのでお読みください。
- ダイハツサービス工場で取り付けられた装備の取り扱いについては、添付されている取扱説明書を参照してください。
- お車をゆずられる際は、次のオーナーのために必ず本書をお車に付けておいてください。
 - 車の仕様変更により、本書の内容やイラストがお車と一部異なる場合がございますがご了承ください。
 - 本書は別冊の「メンテナンスノート」とともに、いつもお車に保管しておいてください。
 - ご不明な点は、ご購入先のダイハツサービス工場（営業スタッフ）におたずねください。

イラスト目次	イラストから検索
--------	----------

1	安全・安心のために	お客様に 必ず お読みいただきたいこと
2	助手席シートリフト	助手席シートリフトに関する説明
3	車いすの収納・固定	車いすの収納・固定方法に関する説明
4	万一の場合には	故障したときや、緊急時などの対処
5	点検・整備項目	定期点検整備についての説明

さくいん	症状から検索
	音から検索
	五十音で検索

イラスト目次.....	4
本書の見方.....	6

1 安全・安心のために

1-1. 安全なドライブのために

助手席シートリフトについて....	8
車いすの固定について	12
バッテリーについて	13

2 助手席シートリフト

2-1. 助手席シートリフト

助手席シートリフトの調整.....	16
ヘッドレスト.....	18
アームレスト.....	20
フットレスト.....	21
正しい乗車姿勢.....	22
ワイヤレスリモコン	23

2-2. 操作のしかた

助手席シートリフトの 操作をするときは	26
助手席シートリフトを 車外に出すときは	31
助手席シートリフトを 車内にもどすときは.....	35
シート昇降スイッチでの 操作.....	38

2-3. リヤシート

リヤシートについて	40
-----------------	----

3 車いすの収納・固定

3-1. 準備

車いすの収納・固定前の 準備.....	42
------------------------	----

3-2. 車いすの収納・固定

収納のしかた	45
車外への出しかた	49

3-3. ラゲージルーム内装備

デッキボードの開閉／ ラゲージアンダーボックスの 使用.....	51
--	----

4 万ーの場合には

4-1. 故障かな？とお考えになる前に

ヒューズの交換..... 54

助手席シートリフトが
動かないときは 56

ワイヤレスリモコンの
電池交換..... 57

4-2. 緊急時の対処法

助手席シートリフトが
車外に出た状態で
動かないときは 60

5 点検・整備項目

5-1. 点検・整備項目

定期点検整備..... 74

さくいん

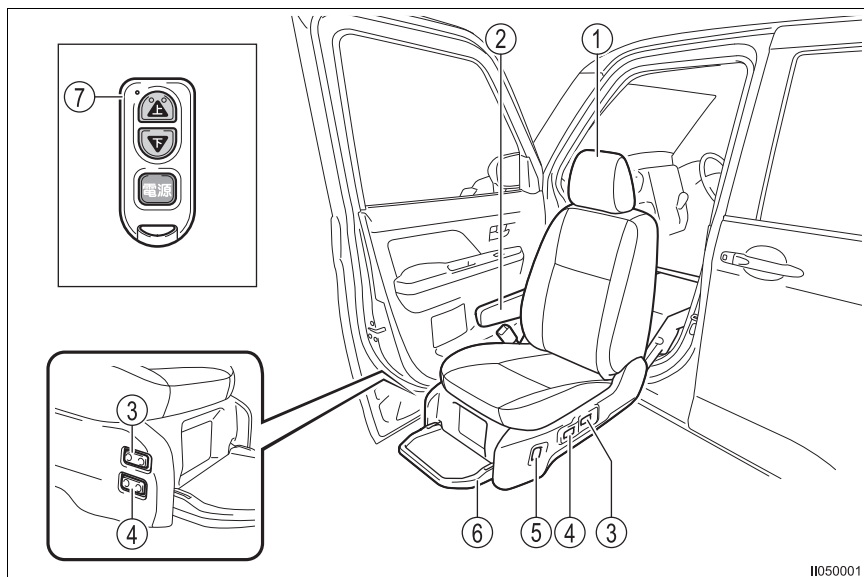
こんなときは
(症状別さくいん)..... 76

車から音が鳴ったときは
(音さくいん)..... 78

五十音順さくいん 80

イラスト目次

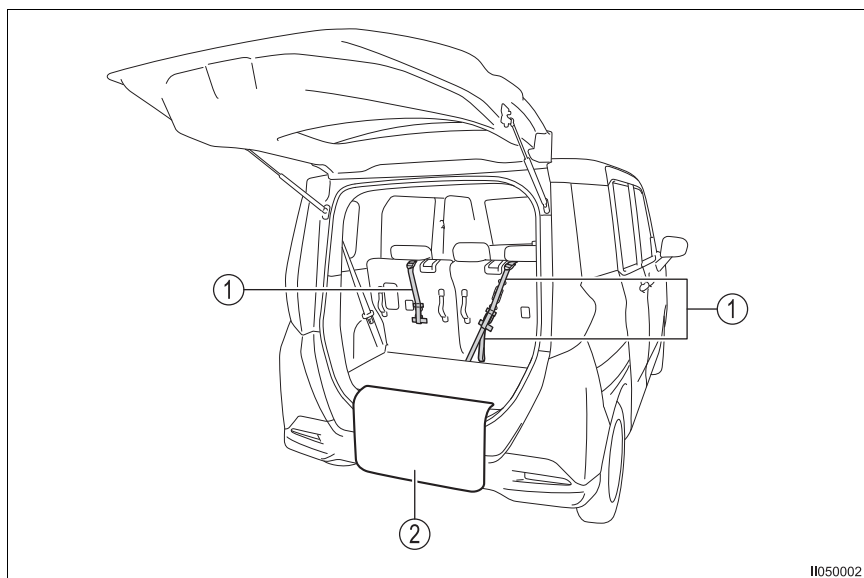
■ 助手席シートリフト



II050001

① ヘッドレスト	P. 18
② アームレスト	P. 20
③ シートリクライニングスイッチ	P. 16
④ シート前後スライドスイッチ	P. 16
⑤ シート昇降スイッチ	P. 38
リセットについて	P. 60
⑥ フットレスト	P. 21
⑦ ワイヤレスリモコン	P. 23
助手席シートリフトを車外に出すときは	P. 31
助手席シートリフトを車内にもどすときは	P. 35
電池交換	P. 57

■ 車いすの収納・固定



II050002

- ① 車いす固定ベルト P. 45, 49
 - 固定のしかた P. 46
 - 解除のしかた P. 49
- ② ガードマット P. 45

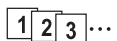
本書の見方



お守りいただかないと、お客様自身と周囲の人々が死亡、または重大な傷害につながるおそれがあることを説明しています。



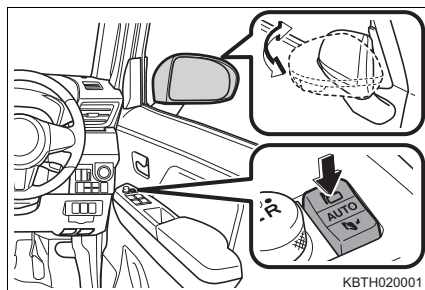
お守りいただかないと、車や装備品の故障や破損につながるおそれがあることを説明しています。



操作・作業の手順を示しています。番号の順に従ってください。

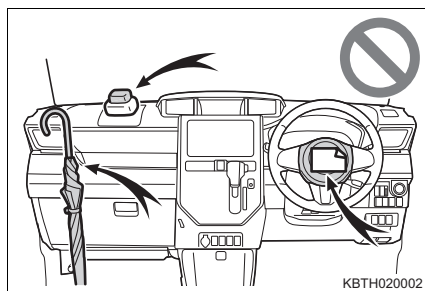
➡ 押す・まわすなど、していただきたい操作を示しています。

➡ フタが開くなど、操作後の作動を示しています。



➡ 説明の対象となるもの・場所を示しています。

⊘ “してはいけません” “このようにしないでください” “このようなことを起こさないでください” という意味です。



機能や操作方法の説明以外で知っておいただきたい、知っておくと便利なことを説明しています。

安全・安心のために

～必ずお読みください～

1

1-1. 安全なドライブのために

助手席シートリフトについて ... 8

車いすの固定について 12

バッテリーについて 13

助手席シートリフトについて

本書におけるトール 助手席シートリフト車の操作はすべて介助の方が行ってください。

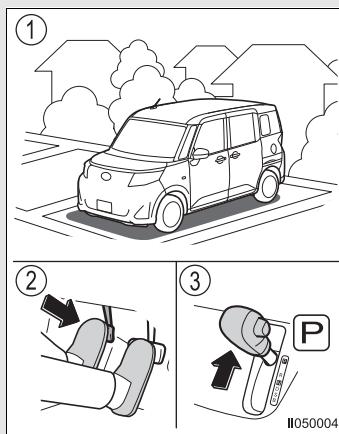
この項目では、助手席シートリフトについて、必ず守っていただきたいことをまとめてあります。

⚠ 警告

■ 操作および車いすを収納するときは

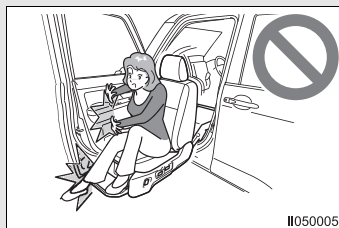
不整地や傾斜地で操作しないでください。
車いす・助手席シートリフトからの転落や、
車いす収納時に車いすが傾いて体や車両に
あたるなど、思わぬ事故につながるおそれ
があります。

- ① 平坦な場所で操作
- ② パーキングブレーキを確実にかける
- ③ シフトレバーをPの位置にする



■ 操作する前に

必ず助手席ドアを全開にしてください。
全開にしないと助手席シートリフト操作
時、助手席シートリフト乗車の方の手足が
助手席ドアと接触し、けがをするおそれ
があります。
また、フットレストとドアトリムが干渉し、
損傷するおそれがあります。



警告**■チャイルドシートの装着禁止**

助手席シートリフトにチャイルドシートを装着しないでください。

装置の破損や、お子さまが重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**■操作するときは**

- 正しい姿勢で乗車してください。(→ P. 22)
- 乗員の体が車両に接触しないように、十分な安全確認をしてください。
助手席シートリフトを回転・昇降させるときに、頭や手足をドア開口部にあて
るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ① ドア開口部と頭部の接触に注意する
- ② インストルメントパネルおよびグローブボックスに足をぶつけないように注意する
- ③ ドア開口部と助手席シートリフトのすき間に挟まれないように注意する
- ④ インストルメントパネルおよびグローブボックスと助手席シートリフトのすき間に挟まれないように注意する
- ⑤ ドアと足の接触に注意する



- フットレストの上で立ち上がらないでください。
フットレストが破損したり、フットレストから落ちてけがをするおそれがあります。

警告**■操作するときは**

助手席シートリフト作動時、助手席シートリフトの下および周辺に手足や荷物を入れないでください。

手足を挟まれけがをしたり、荷物やシートを損傷するおそれがあります。

**■助手席シートリフトを車内に格納したときは**

助手席シートリフトが確実に格納されているか確認してください。

確実に格納されていないと、助手席シートリフトが不意に動いて思わぬ事故につながるおそれがあります。

正常格納時：格納完了時、“ピピッ”とブザーが鳴ります。

異常格納時：格納不良のまま助手席ドアを閉めると“ピーピー”という断続音が鳴ります。

異常格納時は、助手席ドアを開けてからワイヤレスリモコンの電源を入れ、シート上昇スイッチ（または、助手席シートリフトのシート昇降スイッチの上側）を押し続け、格納を完了させてください。

格納不良のままだとバッテリーあがりの原因にもなります。

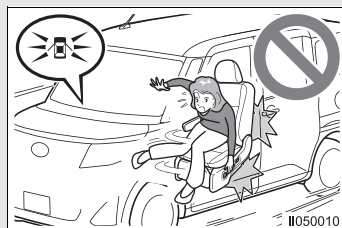


警告

■ 走行する前の安全確認

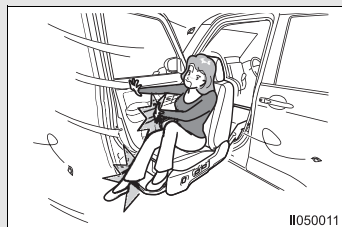
半ドア状態のまま走行しないでください。
半ドア状態のまま走行して、シート昇降スイッチにふれたり操作すると、助手席シートリフトが動き、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

走行する前に半ドア警告灯が消灯し、すべてのドアが確実に閉まっていることを確認してください。



■ 強風時の助手席ドアについて

強風時、助手席ドアが閉まる場合があります。助手席ドアが助手席シートリフトおよび乗員にあたり、けがをするおそれがありますので、注意してください。



■ 助手席シートリフト乗員のシートベルトの着用

走行前に必ずシートベルトを正しく着用してください。(→標準車取扱説明書『シートベルト』)

正しく着用しないと、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

シートベルトを着用した状態ではスイッチを押しても助手席シートリフトは回転・下降作動しません。



車いすの固定について

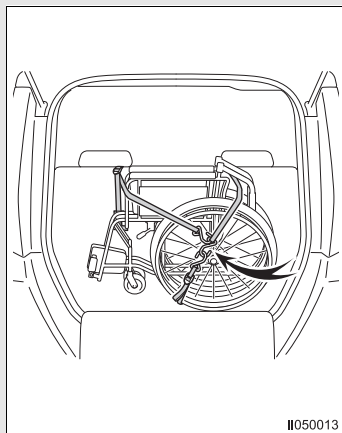
車いすの固定について、必ず守っていただきたいことをまとめてあります。

⚠ 警告

■ 車いすの固定確認

確実に固定されているか確認してください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに車いすが車室内にとび込んだり、車いすが動いて車両や車いすが損傷するなど、重大な事故につながるおそれがあり危険です。

また、車いす固定ベルトにねじれがないことも確認してください。



11050013

バッテリーについて

バッテリーについて、必ず守っていただきたいことをまとめてあります。

知識

■ バッテリーの取り扱いについて

助手席シートリフトの操作中にバッテリーを取りはずさないでください。
バッテリーを取りはずしたことにより、作動しなくなります。

助手席シートリフトの操作中にバッテリーを交換または取りはずしたときは、
バッテリーの接続状態を確認し、リセット操作をしてください。(→ P. 60)

助手席シートリフト

2

2-1. 助手席シートリフト

助手席シートリフトの調整	16
ヘッドレスト.....	18
アームレスト.....	20
フットレスト.....	21
正しい乗車姿勢.....	22
ワイヤレスリモコン	23

2-2. 操作のしかた

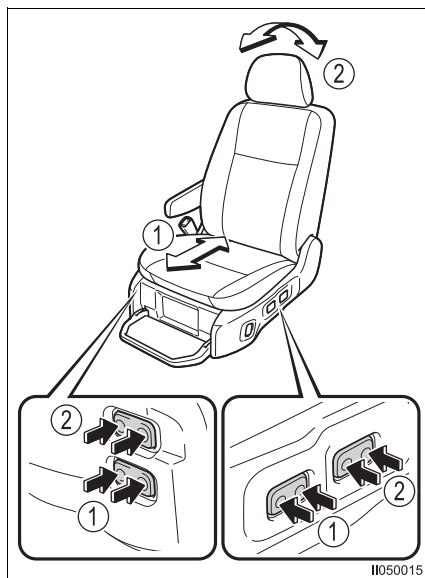
助手席シートリフトの 操作をするときは	26
助手席シートリフトを 車外に出すときは	31
助手席シートリフトを 車内にもどすときは	35
シート昇降スイッチでの 操作	38

2-3. リヤシート

リヤシートについて	40
-----------------	----

助手席シートリフトの調整

- ① 前後位置調整
(シート前後スライドスイッチ)
- ② リクライニング調整
(シートリクライニングスイッチ)



知識

■ 作動条件について

助手席シートリフトが車内に正常格納されていない状態では、前後位置調整・リクライニング調整はできません。

■ 助手席シートリフトの前後スライド量について

回転開始位置から前方に 110mm 移動することができます。

■ シートアレンジについて

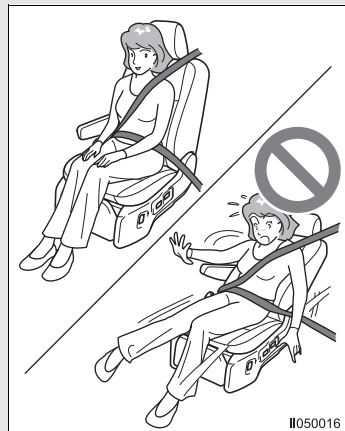
助手席シートリフトはフラットシートにすることはできません。

⚠ 警告

■ リクライニング調整について

- 走行中は背もたれを必要以上に倒さないでください。

事故のときに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受けるなど生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



- 助手席シートリフトの背もたれをうしろ側に倒すときは、助手席側リヤシートにあたらないことを確認しながら行ってください。
手を挟んでけがをしたり、ものを挟んで破損したり、助手席シートリフトの背もたれと助手席側リヤシートがあたり、破損するおそれがあります。

⚠ 注意

■ 故障を防ぐために

前後位置調整、リクライニング調整の作動が完了したらスイッチから指を離してください。

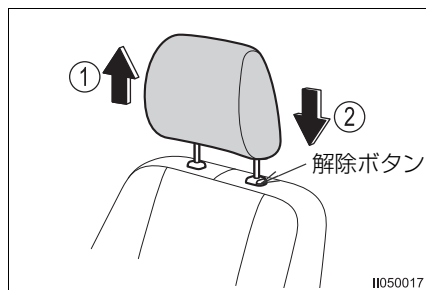
スイッチを押し続けると故障の原因になります。

ヘッドレスト

① 上げる

② 下げる

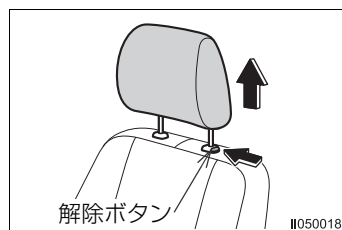
下げるときは、解除ボタンを押しながら操作します。



知識

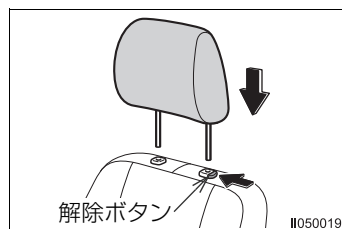
■ヘッドレストを取りはずすときは

解除ボタンを押したまま引き抜きます。



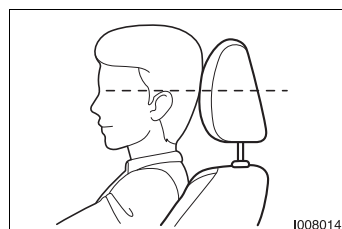
■ヘッドレストを取り付けるときは

- ① 解除ボタンを押しながらヘッドレスト取り付け穴に合わせて挿し込みます。
- ② 解除ボタンから指を離し、ロック位置まで押し下げます。
- ③ さらに下げるときは、解除ボタンを押しながら操作します。



■ヘッドレストの高さについて

必ずヘッドレストの中心が両耳のいちばん上のあたりになるように調整してください。



**警告****■ヘッドレストについて**

次のことをお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ヘッドレストは、それぞれのシート専用のものを使用する
- ヘッドレストを正しい位置に調整する
- ヘッドレストを調整したあとは、ヘッドレストを押し下げて固定されていることを確認する
- ヘッドレストをはずしたまま走行しない

アームレスト

シートベルトの着用を容易にするために、アームレストを少しだけ上げることができます。

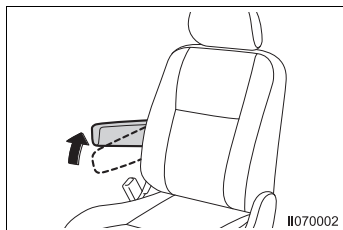
シートベルトを着用するとき以外は、いちばん下げた位置でアームレストを使用してください。

なお、アームレストは格納することができません。

知識

■ シートベルトの着用について

シートベルトの着用をするときは、アームレストを少し上げた状態で行うと着用が容易になります。



警告

■ シートベルトを着用するときは

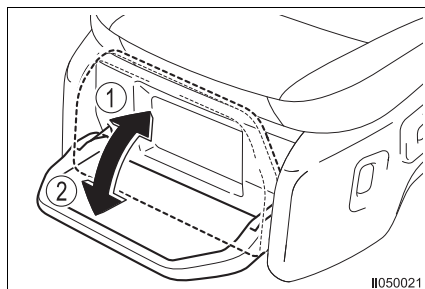
シートベルトは腰部ベルトをアームレストの下に通して正しく着用してください。アームレストにかかった状態で着用すると、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
(→ P. 11)



フットレスト

助手席シートリフトの回転および昇降操作は、フットレストをいっぱいまで下げた状態で行います。

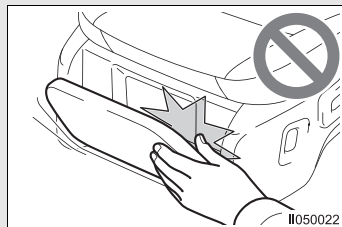
- ① 上げる
- ② 下げる



⚠ 警告

■ フットレストを操作するときは

必ずフットレスト先端部を持って操作してください。
回転部近くを持つと指などを挟み、けがをするおそれがあります。



正しい乗車姿勢

次のように正しい姿勢で乗車してください。

- ① 両ひざをそろえて助手席シートリフトの内側に収まるように座る
- ② 右腕をアームレストの内側におき、左腕を助手席シートの内側に収まるようにする
- ③ フットレストを下げ、両足をフットレストにのせる

フットレストに足をのせることができない場合は、足が助手席シートリフトとボデーのあいだで挟まれないように介助の方が支えてください。



II070008

⚠ 警告

■乗車のときは

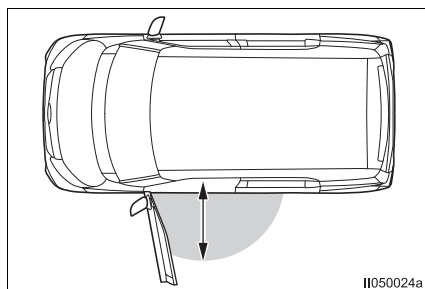
- 助手席シートリフトに深く着座できない方、ひざや首が曲がらない方の場合は、足や頭がボデーにあたり、座った状態での助手席シートリフトの回転が困難になりますので、ご注意ください。
- フットレストの上で立ち上がらないでください。フットレストが破損したり、フットレストから落ちてけがをすることがあります。

ワイレスリモコン

ワイレスリモコンで助手席シートリフトの回転、および昇降操作ができます。

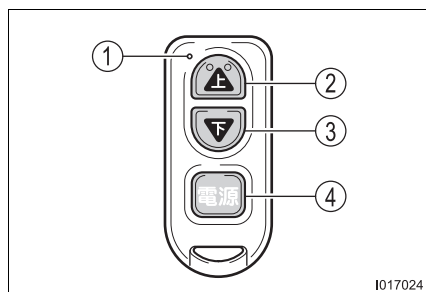
作動可能範囲

助手席シートリフトから約 1m



各部の名称

- ① 動作表示 LED
- ② シート上昇スイッチ
- ③ シート下降スイッチ
- ④ 電源スイッチ



 知識

■ 作動条件について

- ワイヤレスリモコンは、周囲の状況により作動可能範囲がかわることがあります。
- 周囲の電波状況により、シート下降スイッチまたはシート上昇スイッチを押しても助手席シートリフトが一時的に停止する場合や、作動しなくなることがあります。そのときは次のことを行ってください。
 - ・ 立つ位置をかえて操作する
その際、スイッチは押し直してください。押し続けたまま立つ位置をかえても助手席シートリフトは作動しません。
 - ・ シート昇降スイッチで操作する（→ P. 38）
- 助手席側ガラスに次の物を貼り付けると、受信機への電波がさえぎられて受信感度が低下し、作動可能距離が短くなるおそれがあります。
 - ・ 金属を含有するウインドウフィルム
 - ・ その他の金属物（ダイハツ純正品以外のアンテナなど）

■ ワイヤレスリモコンについて

- ワイヤレスリモコンは電波法の認証に適合しています。必ず次のことをお守りください。
 - ・ 電池交換時以外は、不用意に分解しないでください。分解、改造したものを使用することは法律で禁止されています。
 - ・ 必ず日本国内でご使用ください。
- ワイヤレスリモコンの送信機または受信機のどちらかのみを交換したときは、ID コードを登録する必要があります。登録はダイハツサービス工場にお申し付けください。

■ 電池について

- 電池寿命は約1年間です（1回の操作時間を30秒、1日の操作回数を20回で計算した場合）。ただし、電池寿命は実際の使用状況によってかわります。
- ワイヤレスリモコンを操作しても助手席シートリフトが作動しない場合や、著しく作動可能距離が短くなった場合、または動作表示 LED が点灯しなくなったり、点滅しなくなった場合は、電池の消耗が考えられます。電池を交換してください。電池はお客様自身で交換できます。（→ P. 57）

■ 航空機に乗るときは

航空機にワイヤレスリモコンを持ち込む場合は、航空機内でワイヤレスリモコンのスイッチを押さないでください。また、かばんなどに保管する場合でも、簡単にスイッチが押されないように保管してください。スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運行に支障をおよぼすおそれがあります。

**警告****■ 電波がおよぼす影響について**

医療用電気機器（以下を除く）を使用される場合は、電波による影響について医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

- 植込み型心臓ペースメーカー
- 植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータ
- 植込み型除細動器

■ ワイヤレスリモコンを使用するときは

安全に使用していただくため、次のことを必ずお守りください。（→ P. 23）

- 乗員の体が見える位置で、助手席シートリフト乗車の方の頭・腕・足などがボデーと挟まれていないことを確認できる距離で操作する
- 助手席シートリフトまたは助手席シートリフト乗車の方に手を添えるなどして操作する

**注意****■ 故障を防ぐために**

- ワイヤレスリモコンは電子部品のため、次のことを必ずお守りください。
 - ・ ダッシュボードの上など、直射日光のあたる場所および高温になるところに置かない
 - ・ 分解しない
 - ・ 落としたり、踏むなどの強い衝撃を与えない
 - ・ 飲み物などをこぼしたり、水たまりなど、水中に落下させない（防滴構造ですが、できるだけ水にぬらさないでください）
- ワイヤレスリモコンの清掃にシンナー・ガソリン・ベンジンなどの溶剤を使用しないでください。
表面が変形するおそれがあります。清掃するときは、水またはぬるま湯を布などに含ませ、固くしぼってからふいてください。

助手席シートリフトの操作をするときは

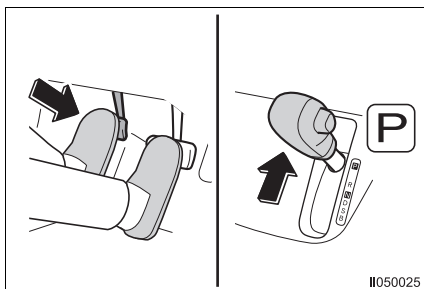
助手席シートリフトは、シートを回転・昇降させ、車内外へ出し入れすることができます。

操作はすべて介助の方が行ってください。

格納後は助手席シートリフトを前後左右にゆすり、シートが確実に格納されたことを確認してください。

助手席シートリフトを操作する前に

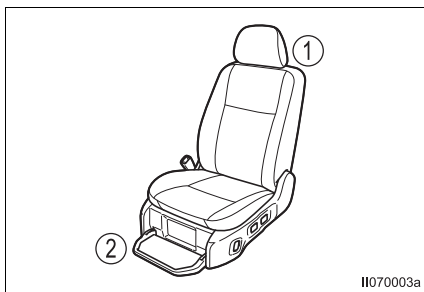
- 1 安全で平坦な場所にエンジンをかけたまま停車し、パーキングブレーキをかけ、シフトレバーをPの位置にする



- 2 助手席ドアを全開にする
約 80° の角度まで開くことができます。
- 3 助手席シートリフトの周囲および作動範囲内に、人や荷物がないことを確認する
- 4 助手席シートリフトのシートベルトをはずす

- 5 助手席シートリフトを回転・昇降するとき、助手席シートリフトを次の状態に調整する

- ① ヘッドレストをいちばん下げた位置にします。
- ② フットレストをいちばん下げた位置にします。



- 6 室内装備が次の状態になっていることを確認する
 - ・ グローブボックスおよびセンターダストボックスのフタが閉まっていること
 - ・ 助手席カップホルダーおよびサンバイザーが格納されていること
 - ・ ショッピングフックが使用されていないこと

 知識

■ ブザーについて

動作や状況に応じて次のようにブザーが鳴ります。

ブザー		動作・状況
ピーツ		ワイヤレスリモコンまたはシート昇降スイッチを押して助手席シートリフトが作動するとき
ピピッ		シート上昇スイッチを押して助手席シートリフトが格納完了したとき
		シート下降スイッチを押して助手席シートリフトが車外に下降完了したとき
警告時	ピー… ※	助手席ドアを閉めたままシート下降スイッチを押したとき
		助手席シートリフトでシートベルトを着用したままシート下降スイッチを押したとき
	ピーピー…	助手席シートリフトが完全に格納されていない状態で、助手席ドアを閉めたとき
		助手席シートリフトが完全に格納されていない状態で、助手席シートリフトでシートベルトを着用したとき
	ピピピッ	助手席シートリフトが作動中、障害物にあたるなど助手席シートリフトの作動がさまたげられたとき

※ スイッチを押しているあいだ、鳴り続けます。

■ eco IDLE について

eco IDLE によるエンジン停止時、運転席または助手席ドアを開けるとエンジンが再始動します。

警告**■チャイルドシートの装着禁止**

→ P. 9

■強風時の助手席ドアについて

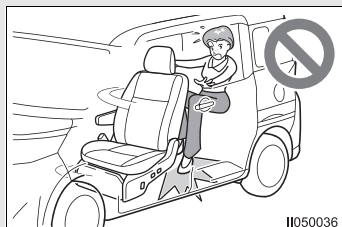
→ P. 11

■助手席シートリフトを操作する前に

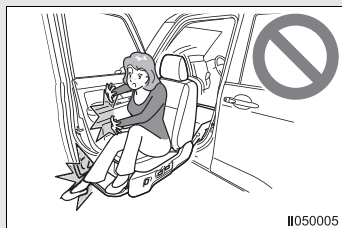
- 助手席シートリフトに深く着座できない方、ひざや首が曲がらない方の場合は、足や頭がボデーにあたり、座った状態での助手席シートリフトの回転が困難になりますのでご注意ください。
- 助手席シートリフト作動時、頭上や手足に注意してください。頭をドア開口部にあてたり、ひざや腕をインストルメントパネルやドア開口部にあて、けがや思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 必ず平坦な場所でパーキングブレーキを確実にかけ、シフトレバーをPの位置にしてください。(→ P. 8)
車いすや助手席シートリフトから転落するなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 必ず助手席側リヤシートの同乗者の安全を確認してください。

助手席シートリフトを操作するとき、助手席シートリフトと車両のあいだに足を挟まれるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



- 必ず助手席ドアを全開にしてください。
全開にしないと助手席シートリフト操作時、助手席シートリフト乗車の方の手足が助手席ドアと接触し、けがをするおそれがあります。
また、フットレストとドアトリムが干渉し、損傷するおそれがあります。



警告**■助手席シートリフトを操作するときは**

- 助手席シートリフトに乗車の方の頭上や手足に注意してください。
頭をドア開口部にあてたり、ひざや腕をインストルメントパネルやドア開口部にあてるなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。(→ P. 9)



- 助手席シートリフト作動時、シートの下および周辺に手足や荷物を入れないでください。
手足を挟まれけがをしたり、荷物やシートを損傷するおそれがあります。
(→ P. 10)
- フットレストの上で立ち上がらないでください。
フットレストが破損したり、フットレストから落ちてけがをするおそれがあります。
- グローブボックスおよびセンターダストボックスのフタを閉じてください。
助手席シートリフト乗車の方の手足や助手席シートリフトがフタにあたるなどして、けがをするおそれがあります。
- 助手席カップホルダーを格納しておいてください。
助手席シートリフト乗車の方の腕がカップホルダーにあたってけがをしたり、カップホルダーが破損するおそれがあります。
- サンバイザーを格納してください。
サンバイザーに頭やヘッドレストをあてるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。
- アシストグリップを持って立ち上がったり、ぶら下がりしないでください。
アシストグリップが破損し、転落するおそれがあり危険です。

 注意**■ 損傷などを防ぐために**

- 助手席シートリフトを操作する前に、可動部周辺に障害物がないことを確認してください。
- 必ずヘッドレストはいちばん下げた位置で使用してください。
ヘッドレストとピラーおよびインナーミラーがあたり、ヘッドレストやインナーミラーを損傷するおそれがあります。
- 助手席シートリフトのリフト能力 100kg をこえないようにしてください。
助手席シートリフトが故障するおそれがあります。
- グローブボックスおよびセンターダストボックスのフタを閉じてください。
助手席シートリフトとフタがあたり、破損するおそれがあります。
- 助手席カップホルダーを格納してください。
助手席シートリフトとカップホルダーがあたり、破損するおそれがあります。
- 助手席側のショッピングフックが使用されていないことを確認してください。
助手席シートリフト回転時に荷物とあたり、シートやショッピングフックが破損するおそれがあります。

■ バッテリーあがりを防ぐために

助手席シートリフトを操作するときは、エンジンをかけておいてください。
エンジンを停止した状態で操作すると、バッテリーあがりの原因になります。
また、バッテリーの容量が不足しているときにエンジンを停止した状態で助手席シートリフトを操作すると、助手席シートリフトが作動中に停止することがあります。

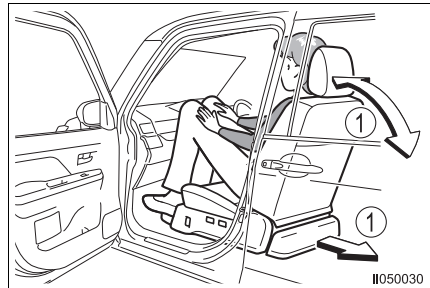
助手席シートリフトを車外に出すときは

- 1 操作前に、次の状態を確認する
 - ・ 助手席シートリフトに乗車している方が正しい乗車姿勢であること (→ P. 22)
 - ・ 助手席シートリフトでシートベルトを着用していないこと
 - ・ 助手席シートリフトおよび車両の状態 (→ P. 26)
 - ・ 助手席側リヤシート同乗者の安全 (→ P. 28)

- 2 ワイヤレスリモコンの電源スイッチを押し、動作表示 LED が赤色点灯中 (6 秒以内) にシート下降スイッチを押し続け、助手席シートリフトを回転・下降させるシート昇降スイッチで操作することもできます。 (→ P. 38)



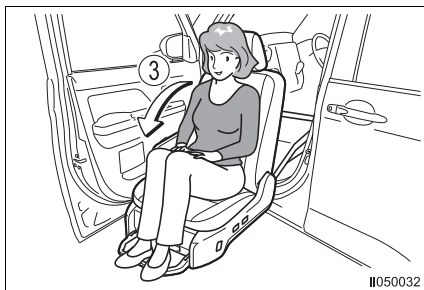
- ① “ピーッ” とブザーが鳴り、回転開始位置まで助手席シートリフトが動きます。
動作表示 LED が緑色に点滅します。



- ② 助手席シートリフトが回転しながら車両前方に移動します。



- ③ 助手席シートリフトが車外へスライドし、下降します。
- 下降が停止し、“ピピッ”とブザーが鳴ったらスイッチから指を離します。



- 3 助手席シートリフトの高さを調整するときは、次のように操作する
- ① ワイヤレスリモコンの電源スイッチを押す
 - ② シート下降スイッチまたはシート上昇スイッチを押し、助手席シートリフトを動かす

知識

■ 作動条件について

次の場合はシート下降スイッチを押すと、“ピー…”とブザーが鳴り、助手席シートリフトは回転および下降しません。(→ P. 27)

- 助手席ドアが閉まっている
- 助手席シートリフトでシートベルトを着用している

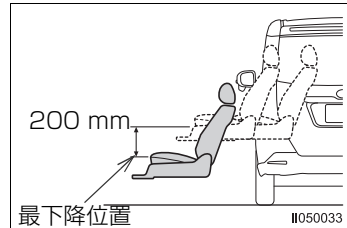
■ ワイヤレスリモコンについて

- 電源スイッチを押してから 6 秒以内にシート上昇スイッチまたはシート下降スイッチを押さないと、自動的に電源が切れます。(動作表示 LED 消灯) シート上昇スイッチまたはシート下降スイッチを押すと、電源はスイッチから指を離れた時点より 6 秒延長します。
- シート上昇スイッチまたはシート下降スイッチを押し、“ピーッ”とブザーが鳴ってから作動します。
断続的にスイッチを押しても助手席シートリフトは作動しません。
- 助手席シートリフト作動中にシート上昇スイッチまたはシート下降スイッチから指を離すと、助手席シートリフトはその位置で停止します。
- 複数のスイッチを同時に押すと、助手席シートリフトは作動しません。

■自動メモリー機能について

助手席シートリフトを車外に出すときは、前回助手席シートリフトを下降させた位置（車内にもどす前の位置）がメモリー位置として記憶されています。

- メモリー位置まで助手席シートリフトが下降・停止すると、“ピピッ”とブザーが鳴り、メモリー位置まで助手席シートリフトが下降したことをお知らせします。
- 助手席シートリフト停止後、ワイヤレスリモコンまたはシート昇降スイッチを操作し、高さを調整すると、調整後の位置をメモリー位置として記憶します。
（メモリー範囲：最下降位置～200mm）



■作動について

助手席シートリフトが作動中、障害物にあたるなど助手席シートリフトの作動がさまたげられた場合、“ピピピッ”とブザーが鳴り（→P. 27）、少し反転して停止します。

この場合、乗車の方の手足などが車両にあたっていないことを確認し、障害物を取り除くなどしたあと、ワイヤレスリモコンの電源を入れ、シート上昇スイッチまたはシート下降スイッチを押すと正常な作動にもどります。

 警告**■ 助手席シートリフトを操作するときは**

→ P. 29

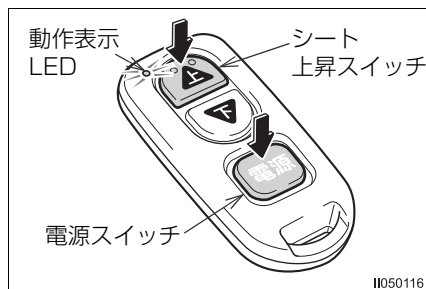
 注意**■ 故障や損傷を防ぐために**

- 断続的にシート下降スイッチまたはシート上昇スイッチを押さないでください。
故障の原因になりますので、スイッチは押し続けてください。
- スwitchの切りかえ操作をするときは、約 1 秒以上たってから行ってください。
瞬時に切りかえを行うと、助手席シートリフトが故障するおそれがあります。
- 助手席シートリフトを車外に出したまま放置しないでください。
特に炎天下・雨天・寒冷時などにおいて、カバー類の変形やモーターなどの凍結、錆び付きなどのおそれがあります。

助手席シートリフトを車内にもどすときは

- 1 操作前に、次の状態を確認する
 - ・ 助手席シートリフトに乗車している方が正しい乗車姿勢であること (→ P. 22)
 - ・ 助手席シートリフトおよび車両の状態 (→ P. 26)
 - ・ 助手席側リヤシート同乗者の安全 (→ P. 28)

- 2 ワイヤレスリモコンの電源スイッチを押し、動作表示 LED が赤色点灯中 (6 秒以内) にシート上昇スイッチを押し続け、助手席シートリフトを上昇・回転させるシート昇降スイッチで操作することもできます。(→ P. 38)



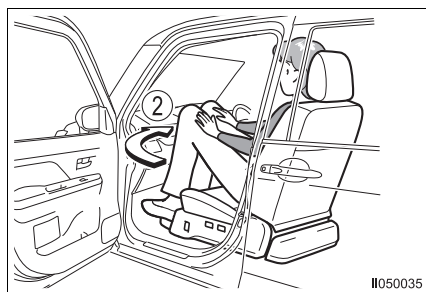
- ① “ピーッ” とブザーが鳴り、助手席シートリフトが上昇・車内へスライドします。

- ・ 動作表示 LED が緑色に点滅します。
- ・ 助手席シートリフトは上昇・車内へスライド中に車両に接触しないように、背もたれが少し動きます。



- ② 助手席シートリフトが車両後方に移動しながら回転します。

いっぱいまで回転すると自動的に停止 (完全に格納) し、“ピピッ” とブザーが鳴ってから、スイッチから指を離します。



- 3 必要に応じて助手席シートリフトの調整（→ P. 16 ～ 21）をし、走行前に必ずシートベルトを着用する（→ P. 11）

正しくシートベルトを着用していることを介助の方が確認してください。

- 4 助手席ドアを閉める

ただちに走行しないときは、エンジンを停止してください。

知識

■ ワイヤレスリモコンについて

→ P. 32

■ 自動メモリー機能について

助手席シートリフトを車内にもどすときは、助手席シートリフトを車外に出す前の前後位置・背もたれ角度（P. 31 手順②の①操作前の状態）がメモリー位置として記憶されています。

- メモリー位置まで助手席シートリフトが回転・停止すると、“ピピッ”とブザーが鳴り、メモリー位置まで助手席シートリフトがもどった（完全格納した）ことをお知らせします。
- 助手席シートリフトが車内に格納されたあと、メモリー位置まで完全にもどる途中でシート上昇スイッチから指を離すと、助手席シートリフトの作動が停止し、再度シート上昇スイッチを押しても作動しくなくなります。
その場合は、シート前後スライドスイッチ・シートリクライニングスイッチを操作して、シートの位置を調整してください。
- 助手席シートリフト停止後、シート前後スライドスイッチまたはシートリクライニングスイッチを操作し、前後位置・背もたれ角度を調整すると、調整後の位置をメモリー位置として記憶します。

■ 作動について

→ P. 33

■ 助手席シートリフトを車内に格納したときは

助手席シートリフトでシートベルトを着用したとき、または助手席ドアを閉めたときにブザー（“ピーピー”という断続音）が鳴った場合は、助手席シートリフトの格納が不完全です。（→ P. 27）

助手席ドアを開け、シートベルトをはずした状態でワイヤレスリモコンの電源スイッチを押し、シート上昇スイッチを押し続け、助手席シートリフトが自動的に停止し、“ピピッ”とブザーが鳴ったことを確認し、シートベルトの着用および助手席ドアを閉めてください。

 警告

- 助手席シートリフトを操作するときは
→ P. 29
- 助手席シートリフトを車内に格納したときは
→ P. 10
- 走行する前の安全確認
→ P. 11

 注意

- 故障を防ぐために
 - 断続的にシート上昇スイッチまたはシート下降スイッチを押さないでください。
故障の原因になりますので、スイッチは押し続けてください。
 - スwitchの切りかえ操作をするときは、約 1 秒以上たってから行ってください。
瞬時に切りかえを行うと、助手席シートリフトが故障するおそれがあります。

シート昇降スイッチでの操作

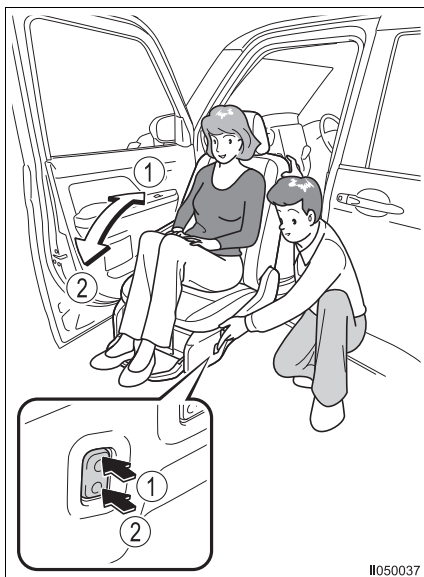
ワイヤレスリモコンの電池切れ、故障および紛失などにより使用できないときは、シート昇降スイッチを使用して助手席シートリフトの回転および昇降操作を行います。

(助手席シートリフトの作動は、ワイヤレスリモコンで操作した場合と同じです)

シート昇降スイッチによる操作のしかた

- 1 助手席ドアを全開にする
- 2 シート昇降スイッチの上側または下側を押し続ける
“ピーッ” とブザーが鳴り助手席シートリフトが作動します。

- ① 上昇・回転する
- ② 回転・下降する
 - ・ スイッチを押しているあいだ、助手席シートリフトが作動します。
 - ・ スイッチから指を離すと、助手席シートリフトはその位置で停止します。



II050037

- 3 助手席シートリフトが自動的に停止したらスイッチから指を離す
 - ・ 助手席シートリフトを車外に出すときは、下降が停止（メモリー位置まで下降）し “ピピッ” とブザーが鳴ってから、スイッチから指を離します。
 - ・ 助手席シートリフトを車内にもどすときは、自動的に停止（完全に格納）し “ピピッ” とブザーが鳴ってから、スイッチから指を離します。

 知識

■ シート昇降スイッチについて

助手席シートリフトはシート昇降スイッチを押し、“ピーッ”とブザーが鳴ってから作動します。(→ P. 27)

 注意

■ 故障を防ぐために

- 断続的にシート昇降スイッチを押さないでください。
故障の原因になりますので、スイッチは押し続けてください。
- スwitchの切りかえ操作をするときは、約 1 秒以上たってから行ってください。
瞬時に切りかえを行うと、助手席シートリフトが故障するおそれがあります。

リヤシートについて

リヤシートについて、標準車との相違点を記載しています。

シートアレンジ

シートロック解除ストラップが装着されているリヤシートのみ、ダイブインモード（リヤシート格納）にすることができます。

シートロック解除ストラップの位置およびダイブインモード（リヤシート格納）にする場合は、標準車取扱説明書の『シートアレンジ』を併せて参照してください。

装備	標準車との相違点	
	標準車	助手席シートリフト 装着車
運転席側リヤシート シートロック解除ストラップ	有	有
助手席側リヤシート シートロック解除ストラップ	有	無

車いすの収納・固定

3

3-1. 準備

車いすの収納・固定前の 準備	42
-------------------------	----

3-2. 車いすの収納・固定

収納のしかた	45
車外への出しかた	49

3-3. ラゲージルーム内装備

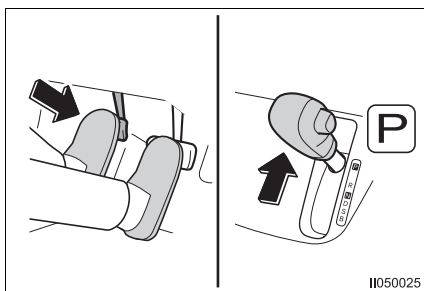
デッキボードの開閉／ ラゲージアンダーボックスの 使用	51
---	----

車いすの収納・固定前の準備

ラゲージルーム内に収納した車いすをベルトで固定できます。

車いすを出し入れする前に

- 1 安全で平坦な場所に停車し、パーキングブレーキをかけ、シフトレバーを P の位置にする

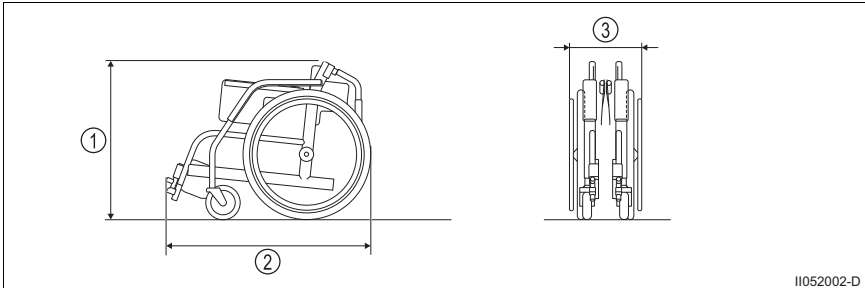


- 2 バックドアを全開にする
- 3 リヤシートを調整する（→標準車取扱説明書の『リヤシート』）
背もたれをいちばん起こした位置にする

 知識

■ 収納可能な車いすのサイズ

収納可能な車いすは、次のサイズになります。



項目		
①	全高 ※ ¹	770mm 以下
②	全長 ※ ²	1000mm 以下
③	折りたたみ幅	360mm 以下

※¹ 全高は車いすの手押しハンドルをたたんだ状態の寸法です。

※² 全長は車いすの手押しハンドルと転倒防止バーをたたんだ状態の寸法です。

■ バックドアについて

全開にしないと、車いす収納時、バックドアと車いすが干渉し、車いすの収納が困難になります。

⚠ 警告

■ 車いすを収納・固定するときは

必ず平坦な場所でパーキングブレーキを確実にかけ、シフトレバーを P の位置にしてください。(→ P. 8)

車いすが傾いて体や車体にあたるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

 注意**■ 損傷を防ぐために**

車いすを収納する前に次のことを確認してください。

お守りいただかないと、車いすの収納が困難になるばかりでなく、荷物や車いすを損傷するおそれがあります。

- ラゲージルーム内に荷物がいないこと
- リヤシートの背もたれをいちばん起こした位置にしていること

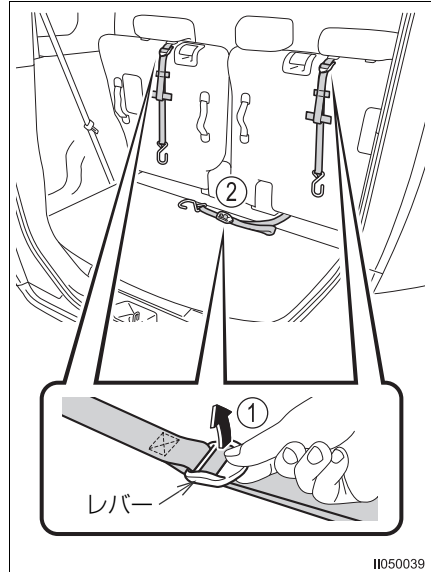
収納のしかた

車いすを収納するときは次のように行ってください。

車いすを車内に入れるときは

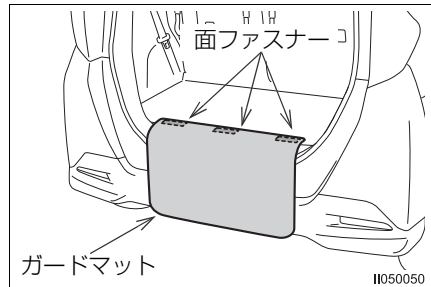
- 1 車いす固定ベルトをゆるめて、ラゲージルーム内に何も置かれていない状態にする

- ① すべての車いす固定ベルトのバックルのレバーを引き上げて、十分にのばす
- ② 下側の車いす固定ベルトをラゲージルームのすみによせる



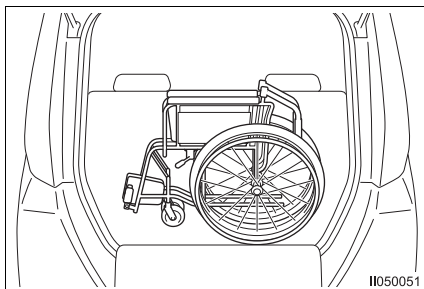
- 2 ガードマットの面ファスナーを床面に貼り付ける

車いす収納時、バンパーの傷付きを防止します。



- ③ 車いすのブレーキを両輪ともかけ、車いすを折りたたんだ状態で収納する

車いすを立てたまま後輪側を右にして収納します。



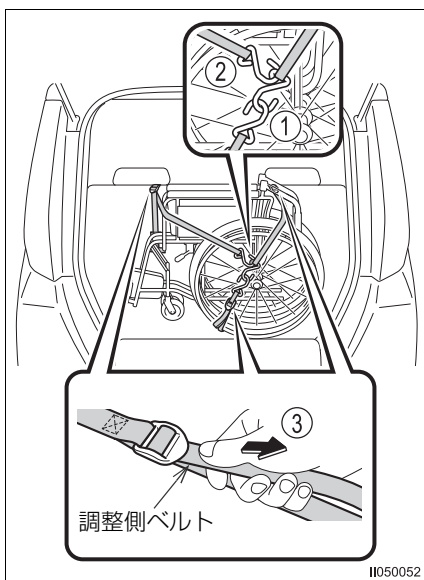
II050051

車いすの固定のしかた

車いす固定ベルトを使用して車いすを固定します。

ベルトのフックは次の場所を目安に引っかけてください。

- ① 上側の車いす固定ベルト（右席側）と下側の車いす固定ベルトのフックを引っかける
- ② 上側の車いす固定ベルト（左席側）のフックを図の場所を目安に引っかける
- ③ 調整側ベルトを引っ張り、車いすを確実に固定する（3本とも）



II050052

固定後、走行する前に

- ① ガードマットをラゲージルーム内に収納する
- ② バックドアを閉める

バックドアを閉めるときは、車いすを挟み込まないこと、および車いすの手押しハンドルなどがリヤウインドウガラスにあたらないことを確認しながら、ゆっくりと閉めてください。

 知識

■ 車いす固定ベルトについて

車いすを収納するときは、車いす固定ベルトをラゲージルーム内中央に放置しないでください。車いす収納時、車いすの下敷きになり、車いす固定ベルトの操作が困難になります。

 警告

■ 車いすを収納するときは

車いすを収納するときは、手などを挟んだり、車いすや車両に体があたらないように注意してください。

■ 車いすを固定・解除するときは

車いすに手を添えて、車いすが動かないようにしてください。
車いすが倒れて体にあたるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

■ 車いすを固定したときは

固定後、車いすを前後左右にゆすり確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに車いすが車室内にとび込み、重大な事故につながるおそれがあり危険です。

 注意**■ 車いすを収納・固定するときは**

- 車いす固定ベルトにねじれがないこと、鋭利な角部にあたっていないことを確認してください。
車いす固定ベルトを正しくかけないと、車いす固定ベルトが切れるおそれがあります。
- 固定後、車いすを前後左右にゆすり確実に固定されていることを確認してください。
バックドアを閉めるときや走行中に車いすがリヤウインドウガラスなどにあたり、損傷するおそれがあります。
- バックドアはゆっくりと閉めてください。
バックドアをいきおいよく閉めると、車いすがリヤウインドウガラスなどにあたり、損傷するおそれがあります。

■ 車いすを固定・解除するときは

車いすを固定・解除するときは、車いすに手を添えて、車いすが動かないようにしてください。
車いすが倒れ、車いすや車両を損傷するおそれがあります。

車外への出しかた

車いすを車外に出すときは次のように行ってください。

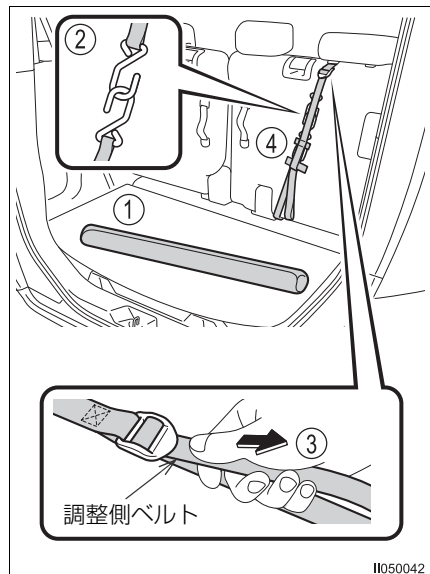
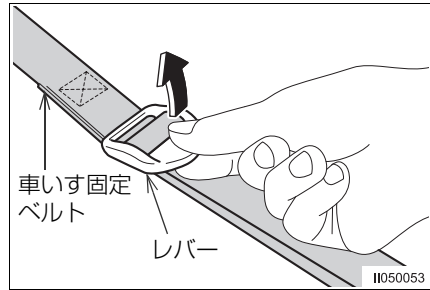
車いすを車外に出すときは

- 1 すべての車いす固定ベルトの、バックルのレバーを引き上げ、車いす固定ベルトをゆるめる
- 2 車いすを手で支えながら、下側の車いす固定ベルトのフックを上側の固定ベルトから取りはずす
- 3 車いすを手で支えながら、上側の車いす固定ベルトを取りはずす
- 4 車いすを車外に出す
- 5 車いす固定ベルトがラゲージルーム外に出ないように固定する

▶ 右席側

上側の車いす固定ベルトと下側の車いす固定ベルトを固定する

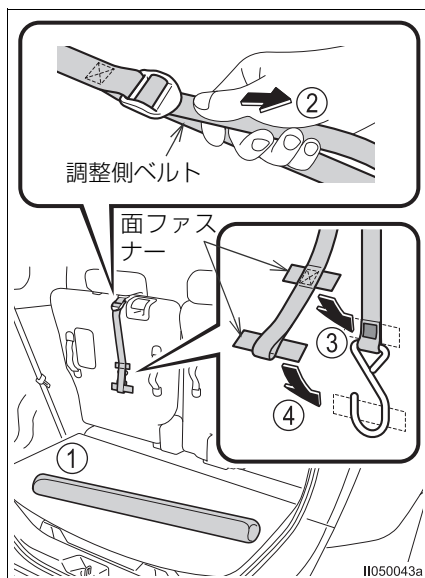
- ① ガードマットをはずしたときは、デッキボードの上に置く
- ② 固定ベルトのフックを引っかける
- ③ 調整側ベルトを引っ張り、フックが走行中にはずれないようにする
- ④ 上側の車いす固定ベルト(右側席)の面ファスナーをリヤシート背もたれ後部に貼り付ける



▶ 左席側

上側の車いす固定ベルトを固定する

- ① ガードマットをはずしたときは、デッキボードの上に置く
- ② 調整側ベルトを引っ張り、手前側と奥側のベルトが同じ長さになるように調整する
- ③ 手前側のベルトの面ファスナー（上側）を奥側のベルトに貼り合わせる
- ④ 手前側のベルトの面ファスナー（下側）をリヤシート背もたれ後部に貼り付ける



知識

■ 車いすを収納・固定しないときは

車いすを収納・固定しないときは、車いす固定ベルトをデッキボードやバックドアに挟まないようにするため、それぞれのフックを引っかけてください。

警告

■ 車いすを固定・解除するときは

→ P. 47

注意

■ 車いすを固定・解除するときは

→ P. 48

デッキボードの開閉／ラゲージアンダーボックスの使用

ラゲージアンダーボックスを使用するときやパンクしたときなど、デッキボードを開閉するときは、次のように行ってください。

デッキボード、ラゲージアンダーボックスのカバーの取り扱いについては、標準車取扱説明書の『ラゲージルーム内装備』を併せて参照してください。

デッキボードを開閉する前に

- 1 車いすがラゲージルーム内に収納・固定されているときは、車いすの固定を解除し、車いすをラゲージルーム外に出す（→ P. 49）
- 2 車いす固定ベルトがラゲージルームの外に出ないように固定する（→ P. 49）

万一の場合には

4

4-1. 故障かな？とお考えになる前に

ヒューズの交換..... 54

助手席シートリフトが
動かないときは 56

ワイヤレスリモコンの
電池交換..... 57

4-2. 緊急時の対処法

助手席シートリフトが
車外に出た状態で
動かないときは 60

ヒューズの交換

次のようなときは、ヒューズ切れが考えられます。

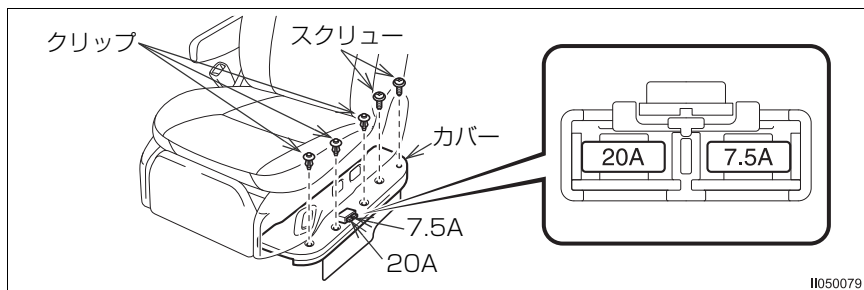
助手席シートリフトのスイッチを操作しても、助手席シートリフトが動かないとき

ヒューズが切れたときは、必ず規定容量のヒューズと交換してください。

ヒューズ位置

■ 助手席シートリフト左側下部

クリップ 3 本、スクリュー 2 本を取りはずし、カバーをはずします。

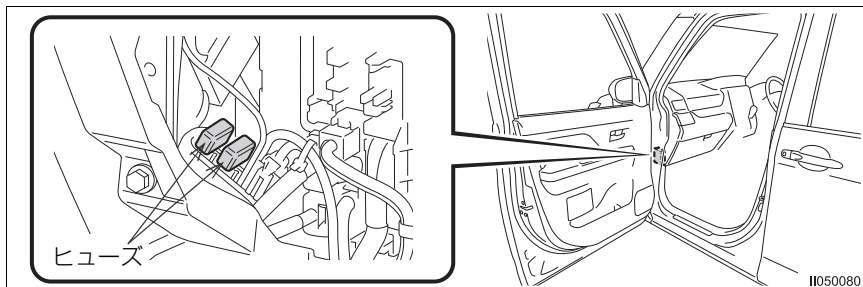


II050079

アンペア数	使用装置
7.5 A、20 A	助手席シートリフト

■ 助手席側ヒューズボックス

ヒューズの点検・交換方法については、標準車取扱説明書の『ヒューズの点検・交換』をお読みください。



ヒューズ名称	アンペア数	使用装置
SEAT	30 A	助手席シートリフト

□ 知識

■ ヒューズを交換したあとは

次の場合はダイハツサービス工場で点検を受けてください。

- 交換しても再びヒューズが切れるとき
- 交換しても助手席シートリフトが動かないとき

⚠ 警告

■ 車の故障や火災を防ぐために

次のことをお守りください。

お守りいただかないと車の故障や火災、けがをするおそれがあります。

- 規定容量以外のヒューズまたはヒューズ以外のものを使用しない
- 必ずダイハツ純正ヒューズか同等品を使用する
- ヒューズやヒューズボックスを改造しない

助手席シートリフトが動かないときは

次の処置をしてください。

作動条件の確認

作動条件をすべて満たしていることを確認してください。(→ P. 32)

ヒューズの点検・交換

作動条件をすべて満たしていても作動しない場合は、ヒューズを点検・交換してください。(→ P. 54)

作動条件の確認およびヒューズの点検・交換をしても動かない場合

すみやかにダイハツサービス工場で点検を受けてください。
修理が完了するまで、絶対に助手席シートリフトを使用しないでください。

■ 車内に入った状態で動かない場合

そのままダイハツサービス工場で点検を受けてください。

■ 車外に出た状態で動かない場合

リセット (→ P. 60) しても動かない場合は、ダイハツサービス工場に P. 65「スイッチを押しても助手席シートリフトが動かないとき」の操作をご依頼ください。

知識

■ バッテリーの取り扱いについて

→ P. 13

ワイレスリモコンの電池交換

電池が消耗しているときは、新しい電池に交換してください。

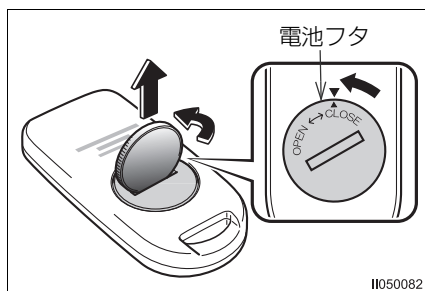
用意するもの

- コインなど、電池フタの溝に挿し込めるもの
- リチウム電池 CR2032

電池交換のしかた

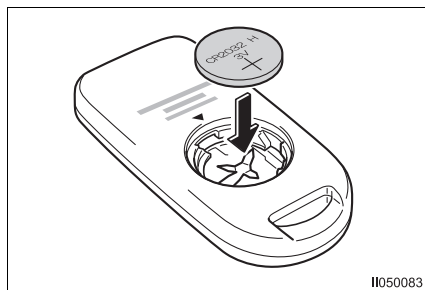
1 電池フタをはずす

コインなどを電池フタの溝に挿し込み、▲マークが合う位置まで OPEN 側にまわし、電池フタをはずします。



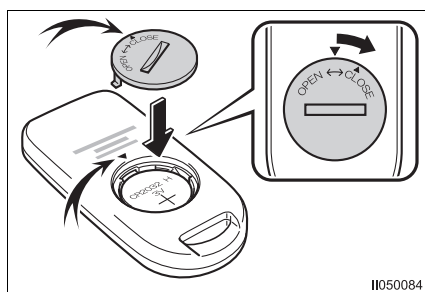
2 電池を交換する

電池を取り出し、新しい電池の+側を上（電池フタ側）にして挿入します。



3 電池フタをはめる

- ・ 電池フタと送信機の▲マークを合わせてはめます。
- ・ コインなどを電池フタの溝に挿し込み、CLOSE 側にまわし、電池フタを締め込みます。



4 作動確認をする

電源スイッチを押し、動作表示 LED が赤色点灯中 (6 秒以内) にシート下降スイッチまたはシート上昇スイッチを押して、動作表示 LED が緑色点滅することを確認します。



知識

■ リチウム電池 CR2032 の入手

電池はダイハツサービス工場、時計店、カメラ店などで購入できます。

 警告**■ ワイヤレスリモコンの電池について**

次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 誤って電池を飲み込まないように注意してください。化学熱傷のおそれがあります。
- ワイヤレスリモコンにはコイン電池もしくはボタン電池が使われています。電池を飲み込むと、わずか 2 時間で重度の化学熱傷を引き起こし、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 新しい電池および取りはずした電池は、お子さまにさわらせないでください。
- カバーがしっかり閉まらない場合はそのまま使用せず、お子さまの手の届かない場所に保管し、ダイハツサービス工場で点検を受けてください。
- 誤って電池を飲み込んだ、または体の一部に入れてしまった場合は、すぐに医師の診察を受けてください。

■ 電池の爆発や可燃性の液体またはガスの漏れを防ぐために

- 同じタイプの電池と交換してください。異なったタイプの電池を使用すると、電池が爆発するおそれがあります。
- 極端に温度の高いところや、高度が高く極端に気圧が低いところに電池を持ち込まないでください。
- 電池を燃やしたり、つぶしたり、切ったりしないでください。

 注意**■ 交換後、正常に機能させるために**

次のことをお守りください。

- 電池交換時に部品を紛失しない
- 電池フタを曲げたりしない
- 電池以外の部品にふれたり、動かしたりしない
- 電池の＋極と－極は必ず正しい向きにして挿入する
- 電池挿入部の電極を曲げたり、ゴミや油などを付着させない

助手席シートリフトが車外に出た状態で動かないときは

万一、助手席シートリフトが回転または昇降途中で動かなくなってしまったときは、助手席ドアを閉めることができません。

ヒューズを点検・交換（→ P. 54）または、リセットしても動かない場合は、ダイハツサービス工場に P. 65「スイッチを押しても助手席シートリフトが動かないとき」の操作をご依頼ください。

助手席シートリフトをリセットする前に

助手席シートリフトに座っている乗員がいる場合は、乗員を安全な場所に移動させてから作業を行ってください。

リセットについて

助手席シートリフトが動かなくなったときは、リセットを行ってください。

1 操作前に、次の状態を確認する

- ・ 助手席ドアが全開になっていること
- ・ 助手席シートリフトのシートベルトが着用状態になっていないこと
- ・ 助手席側リヤシートに乗員がいないこと
- ・ グローブボックスおよびセンターダストボックスのフタが閉まっていること
- ・ 助手席カップホルダーが格納されていること
- ・ サンバイザーが格納されていること
- ・ ショッピングフックが使用されていないこと

2 助手席シートリフトを次の状態にする

- ・ ヘッドレストをいちばん下げた状態にする（→ P. 18）
- ・ フットレストをいちばん上げた位置にする（→ P. 21）

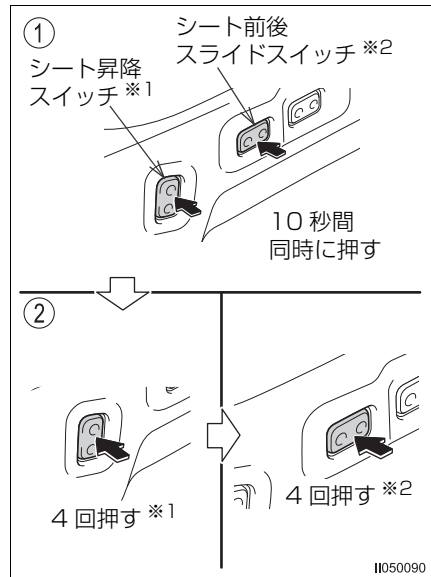
- 3 助手席シートリフトが停止しているときに、次のようにスイッチを操作する

- ① シート前後スライドスイッチとシート昇降スイッチを同時に10秒間押し続ける

10秒間押し続け（“ピー”とブザーが鳴ります）、ブザーが鳴りやんだらスイッチから指を離します。

- ② ブザーが鳴りやんでから10秒以内にシート昇降スイッチおよびシート前後スライドスイッチを各4回押す

- ・ 正しく押すと“ピッピー”とブザーが鳴ります。
- ・ 10秒以内にスイッチを押し終わらなかったり、正しくスイッチを押さなかった場合、“ピー”とブザーが鳴ります。①のスイッチ操作からやり直してください。

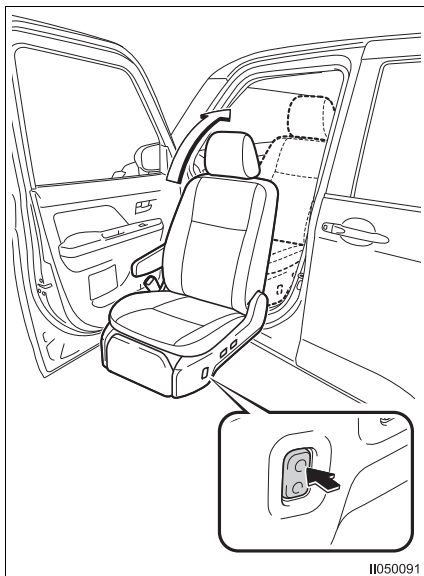


※1 上側・下側どちらでも可

※2 前側・後側どちらでも可

- 4 シート昇降スイッチの上側を押し、助手席シートリフトを上昇および車内にスライドさせる

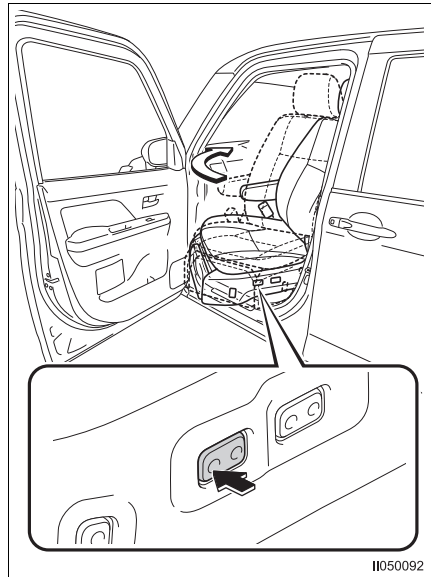
- ・ 助手席シートリフトがグローブボックスにあたらない位置まで助手席シートリフトを上昇および車内にスライドさせます。
- ・ スイッチを押してもシートが動かないときは、ダイハツサービス工場にP. 65「スイッチを押しても助手席シートリフトが動かないとき」の操作をご依頼ください。



※ 手順4～手順8の一連の作動中にリセット解除条件が成立すれば、“ピー”とリセット解除ブザーが鳴り、通常モードに復帰します。(通常作動とは異なります)

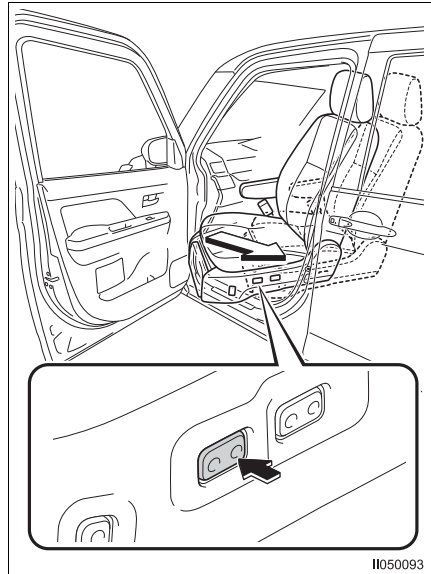
- 5 左側のシート前後スライドスイッチの前側を押し、助手席シートリフトを車内に回転させる

助手席シートリフトが助手席ドアやグローブボックスにあたらない位置まで助手席シートリフトを回転させます。



- 6 左側のシート前後スライドスイッチのうしろ側を押し、助手席シートリフトを後方にスライドさせる

助手席シートリフトがドア開口部にあたらない位置まで助手席シートリフトをスライドさせます。



- 7 助手席ドア、インストルメントパネルおよびドア開口部にあたらないうよう、手順④～手順⑥を繰り返して助手席シートリフトを動かし、上昇リセット、外スライド原点リセット、回転原点リセットおよび前後スライド原点リセットさせる

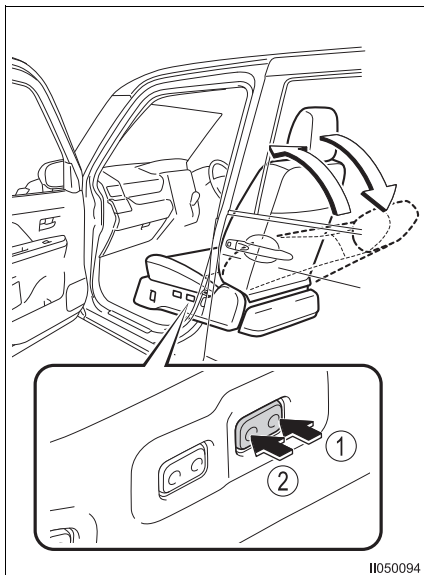
- ・ 原点がリセットされると“ピッ”とブザーが鳴ります。
- ・ 助手席シートリフトが後方にスライドしない場合は、シート昇降スイッチの下側を押してからシート前後スライドスイッチのうしろ側を押し、助手席シートリフトを前方にスライドさせてから、手順⑧の操作をしてください。

- 8 左側のシートリクライニングスイッチを押し、リクライニング原点リセットをする

- ① シートリクライニングスイッチのうしろ側を押して背もたれがうしろ側へ倒れ始め、自動的に停止するまでスイッチを押し続ける。

自動的に停止したあと、またはスイッチを押しても背もたれが動かない場合は②の操作をします。

- ② シートリクライニングスイッチの前側を押して背もたれが前側へ起き始め、“ピッ”とブザーが鳴るまでスイッチを押し続ける



11050094

- 9 各スイッチ操作を行い、助手席シートリフトが通常作動することを確認する

- ・ スwitchを押しても助手席シートリフトが動かない、または通常作動にもどっていないときは、そのままダイハツサービス工場にて点検を受けてください。
- ・ リセット後、初回の操作では下降完了時の“ピピッ”というブザーは鳴りません。

スイッチを押しても助手席シートリフトが動かないとき

ヒューズの点検・交換（→ P. 54）または、リセットしても動かない場合は、ダイハツサービス工場に下記の操作をご依頼ください。

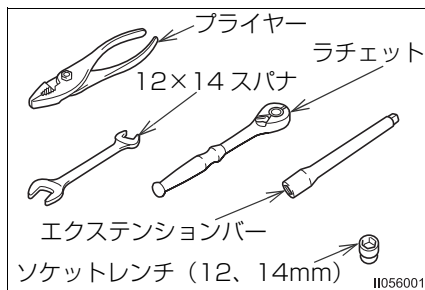
下記の操作は、緊急時の対処法です。

操作を行ったあとは、助手席シートリフトが完全に固定された状態ではありません。シートのまわりに人やものがないことを確認して、すみやかにダイハツサービス工場で点検を受けてください。

■ 使用工具について

助手席シートリフトを手動で車内にもどすときは、次の工具を使用します。

万に備えてあらかじめご用意ください。

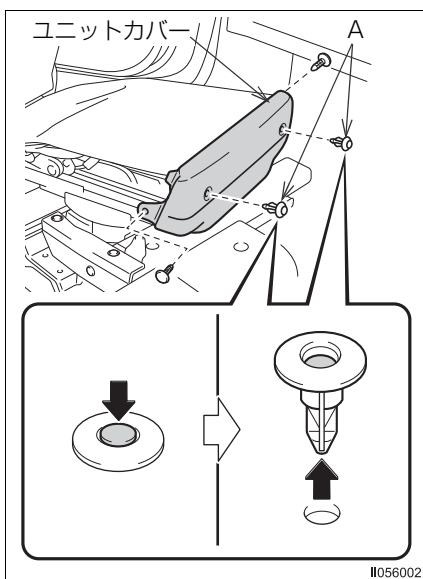


■ 助手席シートリフトを手動で格納させるときは

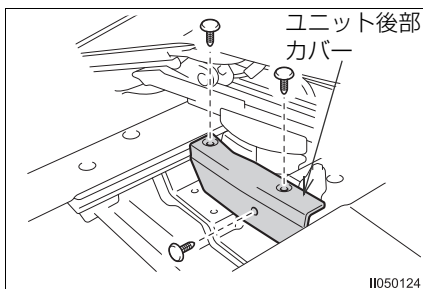
- 1 操作前に次の状態を確認する
 - ・ 助手席ドアが全開になっていること
 - ・ 助手席シートリフトのシートベルトが着用状態になっていないこと
 - ・ 助手席側リヤシートに乗員がいないこと
 - ・ グローブボックスおよびセンターダストボックスのフタが閉まっていること
 - ・ 助手席カップホルダーが格納されていること
 - ・ サンバイザーが格納されていること
 - ・ ショッピングフックが使用されていないこと
- 2 助手席シートリフトを次の状態にする
 - ・ ヘッドレストをいちばん下げた状態にする（→ P. 18）
 - ・ フットレストをいちばん上げた位置にする（→ P. 21）

- 3 クリップ 4 本を取りはずし、助手席シートリフトのユニットカバーを取りはずす

「A」のクリップは、頭部の中心を押してから手前に引くとはずれます。

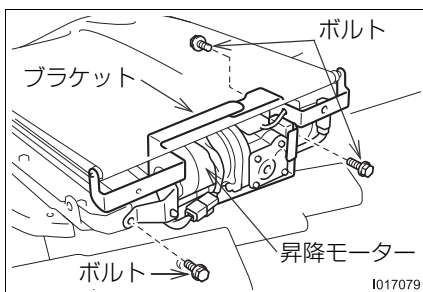


- 4 クリップ 3 本を取りはずし、ユニット後部カバーをはずす

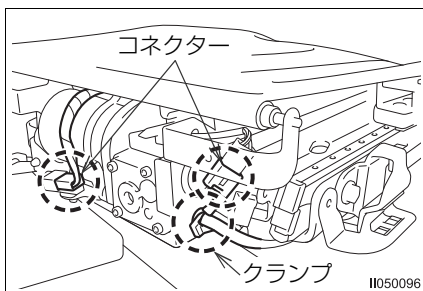


- 5 昇降モーターをずらす

- ・ 昇降モーターブラケットのボルト (12mm) 3 本をはずします。
- ・ スパナまたはソケットレンチ、エクステンションバー、ラチェットを使用してください。



- 6 コネクター2ヶ所およびクランプをはずし、昇降モーターをずらす
昇降モーターをずらすと昇降送りネジが現れます。



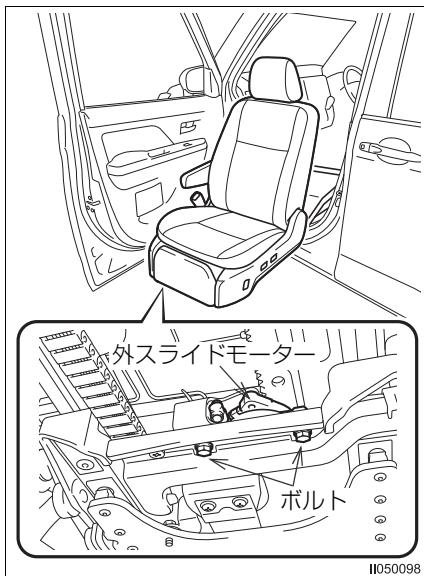
- 7 プライヤーまたはスパナを使用して昇降送りネジ（14mm）を右にまわし、助手席シートリフトを上昇させる
- ・ ロックレバーが起き上がる直前まで助手席シートリフトを上昇させます。
 - ・ 昇降送りネジを左にまわすと助手席シートリフトが下降します。



8 外スライドモーターをずらし、ギヤのかみ合いをはずす

スパナまたはソケットレンチ、エクステンションバー、ラチェットを使用して助手席シートリフト下部のボルト（12mm）2本をゆるめます。

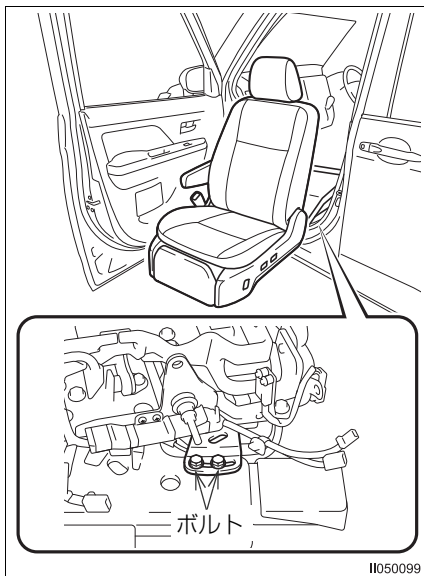
外スライドモーターをずらし、ギヤのかみ合いをはずします。



9 回転モーターをずらし、ギヤのかみ合いをはずす

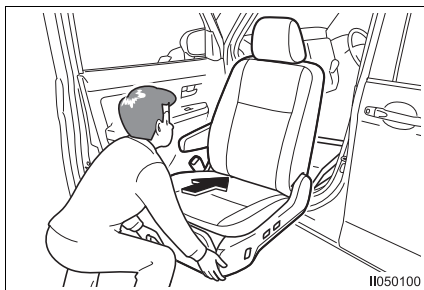
スパナまたはソケットレンチ、エクステンションバー、ラチェットを使用して回転モーターのボルト（12mm）2本をゆるめます。

回転モーターをずらし、ギヤのかみ合いをはずします。



- 10** 助手席シートリフトを車外から押し、車内にスライド・回転させる

助手席シートリフトが助手席ドアやグローブボックスにあたらないことを確認しながら、車内にいっぱいまでスライドさせます。

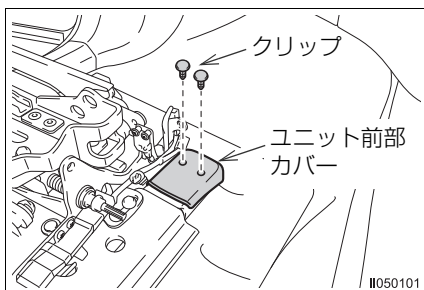


- 11** 手順**7**の方法で、助手席シートリフトをいっぱいまで上昇させる

昇降送りネジがまわらなくなるまで右にまわします。

助手席シートリフトがいっぱいまで上昇した状態でロックされます。

- 12** クリップ 2 本を取りはずし、ユニット前部カバーを取りはずす



- 13** 前後スライドモーターを抜き取る

- ①** ナットを取りはずす

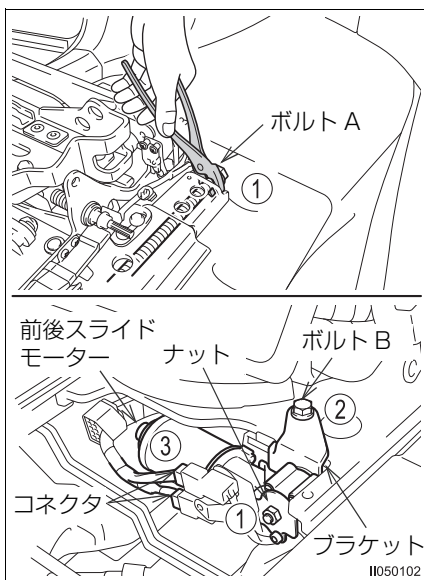
ユニット前部のボルト A をプライヤーで押さえながら、ナットを取りはずします。

- ②** ブラケットのボルトB(14mm)を取りはずす

スパナまたはソケットレンチ、エクステンションバー、ラチェットを使用してください。

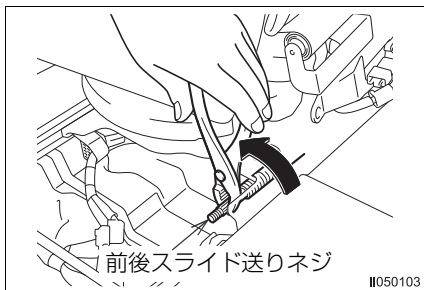
- ③** コネクター2 カ所をはずし、前後スライドモーターを抜き取る

前後スライドモーターを抜き取ると前後スライド送りネジが現れます。



- 14** プライヤーを使用して前後スライド送りネジを左にまわし、助手席シートリフトを後方にスライドさせる

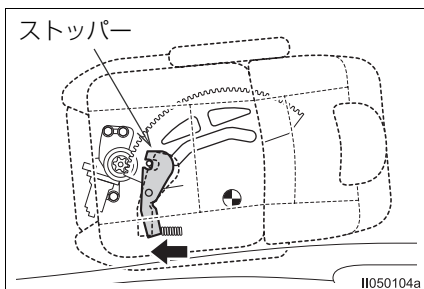
- ・ 助手席シートリフトがドア開口部にあたらない位置まで助手席シートリフトを後方にスライドさせます。
- ・ 前後スライド送りネジを右にまわすと助手席シートリフトが前方にスライドします。



- 15** 手順**10**と手順**14**を繰り返し、助手席シートリフトを格納する

- 16** ストッパーを押してロックを解除し、助手席シートリフトを車内に回転させ、完全に車内に格納する

助手席シートリフトがいっぱいまで回転した状態でロックされます。



- 17** 助手席ドアを閉める

助手席シートリフトが通常の格納完了位置ではない場合には、助手席ドアを閉めるとブザーが鳴ります。

 知識**■ リセット操作時、助手席シートリフトを車外に回転させるときは**

P. 63 の手順⑤において、シート昇降スイッチの下側を押してから、シート前後スライドスイッチの前側を押し続けると、助手席シートリフトが車外に回転します。(スイッチを押す順序が逆の場合、および同時に押すと、助手席シートリフトが停止し、ブザーが鳴ります)

■ リセット操作時、助手席シートリフトを前方にスライドさせるときは

P. 63 の手順⑥において、シート昇降スイッチの下側を押してから、シート前後スライドスイッチのうしろ側を押し続けると、助手席シートリフトが前方にスライドします。(スイッチを押す順序が逆の場合、および同時に押すと、助手席シートリフトが停止し、ブザーが鳴ります)

■ ブザーについて

- 上記「リセット操作時、助手席シートリフトを車外に回転させるときは」および「リセット操作時、助手席シートリフトを前方にスライドさせるときは」以外の複数のスイッチを押すと、助手席シートリフトが停止し、ブザーが鳴ります。(→ P. 27)

- 助手席シートリフトを車内に格納する途中、助手席ドアを閉めると断続的にブザーが鳴ります。(→ P. 27)

■ 紛失を防ぐために

取りはずした部品は袋に入れるなどして、紛失しないようにしてください。

警告**■修理が完了するまでは**

助手席シートリフトに座らないでください。

■助手席シートリフトを手動で格納するときは

- 助手席シートリフト格納スペースに手や足を入れないでください。
助手席シートリフト可動部などで手や足などを挟み、けがをするおそれがあります。



- 工具を使用したあとは、所定の場所に確実に保管してください。
車室内などに放置すると、急ブレーキをかけたときや、衝突したときなどに、工具が飛んできて乗員にあたるなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

注意**■損傷を防ぐために**

P. 60 の「リセットについて」および P. 65 の「スイッチを押しても助手席シートリフトが動かないとき」の操作をするときは、次のことを必ずお守りください。

- グローブボックスおよびセンターダストボックスのフタを閉じてください。
助手席シートリフトとフタがあたり、破損するおそれがあります。
- 助手席カップホルダーを格納してください。
助手席シートリフトとカップホルダーがあたり、破損するおそれがあります。
- 助手席側のショッピングフックが使用されていないことを確認してください。
助手席シートリフト回転時に荷物とあたり、シートやショッピングフックが破損するおそれがあります。
- サンバイザーを格納してください。
助手席シートリフトのヘッドレストとサンバイザーがあたり、破損するおそれがあります。

点検・整備項目

5

5-1. 点検・整備項目

定期点検整備..... 74

定期点検整備

故障を減らして長く大切に使うために、定期点検整備をお願いします。
点検結果を記録する際には、巻末の記録簿を A4 サイズにコピーして使用してください。

点検整備項目		点検時期		交換時期(年)	備考	
		日常点検	自家用車			
			12か月ごと			24か月ごと
助手席シートリフト	シートリクライニングスイッチ					
	リクライニング作動時の引っかかり・異音	○	○			
	シート前後スライドスイッチ					
	スライド作動時の引っかかり・異音	○	○			
	シート昇降スイッチ					
車いす固定ベルト	昇降作動時の引っかかり・異音	○	○			
	収納状態、下降状態のガタ		○		著しいガタがないこと	
	ベルトの傷・ほつれ	○			ほつれが始まったら交換	

※ 空欄については点検および交換の必要はありません。

さくいん

こんなときは （症状別さくいん）.....	76
車から音が鳴ったときは （音さくいん）.....	78
五十音順さくいん.....	80

こんなときは（症状別さくいん）

お困りの際は、ダイハツサービス工場にご連絡いただく前にまず次のことを確認してください。

故障かな？と思ったら



ブザーが鳴りだした

- 「車から音が鳴ったときは（音さくいん）」（→ P. 78）をご確認ください。

助手席シートリフトについて



助手席シートリフトの回転・昇降操作ができない

- 助手席シートリフトでシートベルトを着用していませんか？（→ P. 26, 32）
- 助手席ドアが全開されていますか？（→ P. 26, 32）



助手席シートリフトが少し反転して停止した

- 助手席シートリフトが作動中に障害物にあたっていませんか？（→ P. 33）



助手席シートリフトの前後位置・リクライニング調整ができない

- 助手席シートリフトは車内に完全格納されていますか？（→ P. 16, 35）

**助手席シートリフトが動かない、または作動中に停止した**

- 断続的にスイッチを押していませんか？（→ P. 34, 39）
- ヒューズが切れていませんか？（→ P. 54）
- 助手席シートリフト操作中にバッテリーをはずしていませんか？（→ P. 13）

助手席シートリフト操作中にバッテリーをはずしたときは、リセット操作が必要になります。（→ P. 60）

**助手席シートリフトが動かない（ワイヤレスリモコンで操作している場合）**

- 車両から離れすぎていませんか？（→ P. 23）
- 周囲の電波状況により、助手席シートリフトが作動しなくなることがあります。（→ P. 24）
- 電源スイッチを押してから 6 秒以内（動作表示 LED が赤色点灯中）に、シート下降スイッチまたはシート上昇スイッチを押していますか？（→ P. 31, 35）

**ワイヤレスリモコンの作動可能距離が著しく短くなったり、動作表示 LED が点灯・点滅しなくなった**

- 電池を交換してください。（→ P. 57）

車から音が鳴ったときは（音さくいん）

次の状況のとき、車の状態や誤操作などをお知らせするためにブザーが鳴ります。

助手席シートリフト操作時

状況	原因	詳細
ワイヤレスリモコンまたはシート昇降スイッチを押したとき	助手席シートリフト作動開始	P. 27 P. 31 P. 35 P. 38
	助手席シートリフトが車外に下降完了	P. 27 P. 32 P. 38
	助手席シートリフトが車内に格納完了	P. 27 P. 35 P. 38
ワイヤレスリモコンまたはシート昇降スイッチを押しても助手席シートリフトが動かないとき	助手席ドアを閉めたままシート下降スイッチを押している	P. 27 P. 32
	助手席シートリフトでシートベルトを着用したままシート下降スイッチを押している	P. 27 P. 32
助手席シートリフトが少し反転して停止したとき	助手席シートリフトが作動中、障害物にあたるなど助手席シートリフトの作動がさまたげられた	P. 27 P. 33

助手席ドア開閉時

状況	原因	詳細
助手席ドアを閉めたとき	助手席シートリフトの格納が不完全	P. 27 P. 36

シートベルト着用時

状況	原因	詳細
助手席シートリフトでシートベルトを着用したとき	助手席シートリフトの格納が不完全	P. 27 P. 36

五十音順さくいん

あ

アームレスト	20
安全なドライブのために	
車いすの固定について	12
助手席シートリフトについて	8
バッテリーについて	13

え

eco IDLE	27
----------------	----

か

ガードマット	45
--------------	----

き

緊急時の対処法	
助手席シートリフトが	
車外に出た状態で	
動かないときは	60

く

車いす	
解除のしかた	49
固定のしかた	46
車外に出すときは	49
収納可能なサイズ	43
収納・固定前の準備	42
収納のしかた	45
ラゲージルーム内に収納・	
固定しないときは	49
車いす固定ベルト	45, 49

こ

故障かな？とのお考えになる前に	
助手席シートリフトが	
動かないときは	56
ヒューズの交換	54
ワイヤレスリモコンの	
電池交換	57

し

シート昇降スイッチ	38
シート前後スライドスイッチ	16
シートリクライニングスイッチ	16
自動メモリー機能	33, 36
収納可能な車いすのサイズ	43
使用工具について	65
助手席シートリフト	
アームレスト	20
動かないときは	56
シート昇降スイッチでの 操作	38
シート前後スライド スイッチ	16
シートリクライニング スイッチ	16
自動メモリー機能	33, 36
車外に出すときは	31
車内にもどすときは	35
手動で車内に格納させる ときは	65
操作をするときは	26
正しい乗車姿勢	22
フットレスト	21
ヘッドレスト	18
リセットについて	60

す

スイッチを押しても 助手席シートリフトが 動かないとき	65
---	----

た

正しい乗車姿勢	22
---------------	----

て

定期点検整備記録簿	巻末
デッキボードの開閉	51
点検・整備項目 定期点検整備	74

は

バッテリーの 取り扱いについて	13
--------------------------	----

ひ

ヒューズ 助手席側ヒューズボックス	55
助手席シートリフト 左側下部	54

ふ

ブザー	27
フットレスト	21

へ

ヘッドレスト	18
--------------	----

ま

万ーの場合には 故障かな?とお考えに なる前に	54
-------------------------------------	----

ら

ラゲージルーム内装備 デッキボードの開閉/ ラゲージアンダーボックスの 使用	51
---	----

り

リセットについて	60
----------------	----

わ

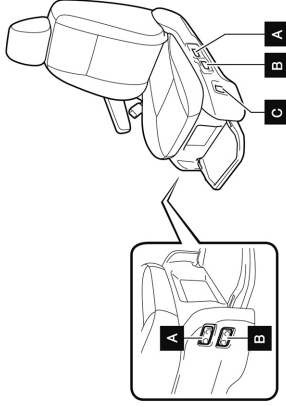
ワイヤレスリモコン	23
各部の名称	23
作動可能範囲	23
電池交換	57

12か月定期点検整備記録簿

該当なし	／	異常なし	交換	X	締付	T	清掃	C
調整	A	修理	給油	L	省略	P		

点検の結果および整備の概要

■シート
電動系シート



- A** ☐ シートリライニングスライツチ

☐ リクライニング作動時の引っかかり、異音

B ☐ シート前後スライズスイッチ

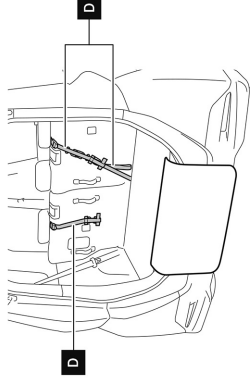
☐ スライズ作動時の引っかかり、異音

C ☐ シート昇降スライツチ

☐ 昇降作動時の引っかかり、異音

☐ 収納状態、下降、リルトダウン状態のガタ

■車いす収納装置



- D** 車いす固定ベルト
ベルトの傷・ほつれ

■その他必要となった点検整備の内容 及び主な交換部品

[illegible]

わチヤンズに関するアドバイス	
氏名又は名称 住所	依頼者の氏名又は名称及び住所
トータル 氏名又は名称 事業場の所在地 実業番号	自動車登録番号又は車体番号 自動車分解整備事業者の氏名又は名称及び事業場の所在地 分解整備（点検）時の総走行距離 点検の年月日
km	年 月 日

**お問い合わせ、ご相談は、ご購入いただいたお店、
最寄りのダイハツ販売会社、または
ダイハツお客様コールセンターまでお願いいたします。**

**お問い合わせには、あらかじめ次の事項に
ついて確認の上、ご連絡願います。**

- (1) 車名および型式、登録番号
- (2) ご購入年月日
- (3) 走行距離
- (4) お客様のご住所、お名前、電話番号

お問い合わせ、ご相談は、ご購入いただいたお店、
最寄りのダイハツ販売会社または下記までお願いいたします。

ダイハツお客様コールセンター

フリーコール  0800-500-0182

受付時間 9:00~17:00

〒563-8651 大阪府池田市ダイハツ町1番1号



弊社におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、ダイハツ工業株式会社ホームページにて掲載しております。(<https://www.daihatsu.com/jp/privacy.html>)

シートベルトを締めましょう

●車両の仕様等の変更により本書の内容が車両と一致しない場合がありますのでご了承ください。